

2026年度 学習センター利用の手引



 **放送大学**
東京文京学習センター

目 次

1	2026年度学事暦 (学部)	—	2
	(大学院・修士課程)	—	4
	(大学院・博士課程)	—	6
2	東京文京学習センター日程	—	8
3	学習センター概要	—	20
	(1) 主な業務 (2) 利用できる人		
	(3) 利用上の注意事項 (4) 開所日及び利用時間		
4	施設の案内	—	22
	(1) 地下1階 (2) 2階 (3) 3階		
	(4) 事務室等案内		
5	図書室の利用	—	26
6	視聴学習室の利用	—	28
7	諸手続・諸証明	—	31
	(1) 住所等の変更		
	(2) 学生教育研究災害傷害保険の加入		
	(3) 学生旅客運賃割引証の発行		
	(4) 諸証明書発行 (5) 無線LANの利用申請		
8	学習上の注意事項	—	34
	(1) 面接授業 (2) 通信指導 (3) 卒業研究		
	(4) 体育実技 (5) 単位認定試験 (6) 除籍		
	(7) 学習相談 (8) 立入禁止場所 (9) ハラスメント		
	(10) 障がいのある学生への修学支援		
	(11) 施設の使用 (12) 学生用掲示板		
	(13) 学生団体(サークル)(2026年度東京文京学習センター公認学生団体(サークル)一覧)		
9	東京文京学習センターの教員紹介	—	41
10	案内図	—	45
11	放送大学本部及び南関東学習センター一覧	—	46

1 2026 年度学事暦

学部

		第 1 学 期					
月	4	5	6	7	8	9	
授 業	4/1			7/14	7/15	9/30	
	放送授業			夏期学習期間			
	4/3			7/中旬	8/31		
	オンライン授業 科目別にて7月上旬までに課題締切。その後、8/31まで閲覧可能。						
業		5/1		7/中旬	8/31		
	ライブ Web 授業 7月中旬まで授業実施。その後、8/31までアクセス可能。						
	4/18			7/26			
面接授業							
手 続 き 等	4/17			7/12			
	面接・ライブWeb授業追加登録期間						
	上旬	5/7~5/27	下旬	7/14~7/18(記述・併用) 7/14~7/22(択一)	下旬		
	履修許可通知 卒業研究	通信指導提出期間	試験通知(受験票)	単位認定試験	(次年度)卒業研究 成績通知 履修申請		
次 学 期 の 準 備					8/15~8/30(郵送) 8/15~8/31(Web)		
					科目登録申請		
						9月上旬 授業料納入	
			6/10			9/9	
第2学期募集要項配布							
		6/10			9/9		
出願受付期間							

第 2 学 期					
10	11	12	1	2	3
10/1			1/13	1/14	3/31
放送授業			冬期学習期間		
10/5			1/中旬		3/1
オンライン授業			科目別に1月上旬までに課題締切。その後、3/1まで閲覧可能。		
	10/30		1/中旬		3/1
ライブ Web 授業			1月中旬まで授業実施。その後、3/1までアクセス可能。		
10/17			1/24		
面接授業					
10/16			1/10		
面接・ライブWeb授業追加登録期間			1/17～1/21(記述・併用) 1/17～1/25(択一)		
	11/1	11/5～ 11/25	下旬	単位認定試験	下旬 成績通知
	提出期限 卒業研究報告書	通信指導提出期間	試験通知(受験票)		
				2/13～2/27(郵送) 2/13～2/28(Web)	
				科目登録申請	
					3月上旬 授業料納入
	11/26				3/15
2027年度第1学期募集要項配布					
	11/26				3/15
出願受付期間					

下旬
学位記授与式
(本部主催)

大学院・修士課程

第 1 学 期						
月	4	5	6	7	8	9
授 業	4/1			7/14 7/15		9/30
	放送授業			夏期学習期間		
業	4/3			7/中旬	8/31	
	オンライン授業 科目別に7月上旬までに課題締切。その後、8/31まで閲覧可能。					
手 続 き 等		5/7～5/27		下旬		
		通信指導 提出期間		試験通知(受験票)	単位認定試験	下旬 成績通知
研 究 指 導 ・ 修 了	4/4 4/5 入学時 オリエン テーション (臨床以外)	5/11 入学時 オリエン テーション (臨床)		7/14～7/18 (記述・併用) 7/14～7/22 (択一)		
					8/15～8/30 (郵送) 8/15～8/31 (Web) 科田登録 (修士全科生・修士選科生)	
第1年次					8/18 研究レポート 提出期限	
	第2年次				8/18 研究レポート 提出期限	
修 士 全 科 生 募 集			6/10	8/25		
			修士全科生募集要項配布		8/15 8/25	出願受付
修 士 選 科 生 募 集			6/10	9/9		
			第2学期募集要項配布			
				上旬	授業料納入	
			6/10	9/9		
			出願受付期間			

1. 修士選科生・修士科目生の合否判定は、出願受付期間を数回に分けて行い、その都度合格通知書などを送付します。

第 2 学 期					
10	11	12	1	2	3
10/1			1/13 1/14		3/31
放送授業			冬期学習期間		
10/5			1/中旬		3/1
オンライン授業					
科目別に1月上旬までに課題締切。その後、3/1まで閲覧可能。					
	11/5~11/25		1/17~1/21 (記述・併用) 1/17~1/25 (択一)		
	通信指導 提出期間	下旬 試験通知(受験票)	単位認定試験	下旬 成績通知	
				2/13~2/27 (郵送) 2/13~2/28 (Web)	科目登録(修士全科生・修士選科生)
				2/18 研究レポート 提出期限	
		12/18 修士論文の 提出期限	上旬~下旬 ← 修士論文審査 期間(口頭試 問を含む) →		
		入学者選考(一次・二次)	合格 通知		
	11/26				3/15
	2027年度第1学期募集要項配布				
上旬		下旬			
		授業料納入			
	11/26				3/15
	出願受付期間				

2. 学年暦に変更が生じた場合には、学習センターへ掲示、システム WAKABA、放送などでもお知らせします。

大学院・博士課程

第 1 学 期						
月	4	5	6	7	8	9
授 業	4/11～4/12 ⇔ 「特論」集中講義(前半) 4/11 ○ 入学時オリエンテーション	中旬 ⇔ 「特論」集中講義(後半) 上旬 ○ レポートI提出期限	中旬	上旬 ○ レポートII提出期限	下旬 成績通知	
	4/1 ← 「研究法」				7/31 →	
研 究 指 導	← (研究計画書の作成および事例研究など) 4/11 ○ 入学時オリエンテーション		プ ロ グ ラ ム 報 告 会			
	← (博士論文の中心的な柱となる論文作成など)					
	← (博士論文の作成)			下旬 ○ 博士予備論文審査願提出	中旬 ⇔ 博士予備論文審査および口頭試験	上旬 ○ 博士予備論文審査結果伝達
手 続 き 等					8/15～8/30 (郵送) 8/15～8/31 (Web) ⇔ 科目登録	

第 2 学 期					
10	11	12	1	2	3
10/1 ← 「研究法」			1/31 →		
				下旬 成績 通知	
10/1 ← 「研究法」			1/31 →		
				下旬 成績 通知	
					→
					→
	下旬 ◎ 博士論文 審査願提出	中旬 ←	中旬 → 博士論文審査 および口頭試験	下旬 成績 通知	下旬 ◎ 学位記授与式 (本部主催)
				2/13~2/27 (郵送) 2/13~2/28 (Web)	
				2027年度第1学期科目登録	

2 東京文京学習センター日程

〔1学期〕4月

月 日	曜	事 項
4/1	水	学生証発行 放送授業 (～ 7/14)
4/2	木	
4/3	金	オンライン授業 (～ 7/中)
4/4	土	
4/5	日	第1学期入学者の集い
4/6	月	閉所日
4/7	火	閉所日
4/8	水	
4/9	木	
4/10	金	入構禁止 (午前)
4/11	土	
4/12	日	
4/13	月	閉所日
4/14	火	閉所日
4/15	水	
4/16	木	
4/17	金	面接授業追加登録空席発表
4/18	土	面接授業 (～ 7/26)
4/19	日	
4/20	月	閉所日
4/21	火	閉所日
4/22	水	
4/23	木	
4/24	金	
4/25	土	
4/26	日	
4/27	月	閉所日
4/28	火	閉所日
4/29	水	閉所日 昭和の日
4/30	木	
○4/上 卒業研究履修許可通知発送		
○4/17～7/12 面接授業追加登録受付		

〔1学期〕5月

月 日	曜	事 項
5/1	金	ライブWeb授業 (~ 7/10)
5/2	土	閉所日
5/3	日	閉所日 憲法記念日
5/4	月	閉所日 みどりの日
5/5	火	閉所日 こどもの日
5/6	水	閉所日 振替休日
5/7	木	閉所日 通信指導提出期間 (Web ~ 5/27)
5/8	金	
5/9	土	
5/10	日	
5/11	月	閉所日
5/12	火	閉所日
5/13	水	通信指導提出期間 (郵送 ~ 5/27)
5/14	木	
5/15	金	
5/16	土	
5/17	日	
5/18	月	閉所日
5/19	火	閉所日
5/20	水	
5/21	木	
5/22	金	
5/23	土	
5/24	日	
5/25	月	閉所日
5/26	火	閉所日
5/27	水	通信指導提出期限 (郵送・Web)
5/28	木	
5/29	金	
5/30	土	
5/31	日	

〔1学期〕6月

月 日	曜	事 項
6/1	月	閉所日
6/2	火	閉所日
6/3	水	
6/4	木	
6/5	金	
6/6	土	
6/7	日	
6/8	月	閉所日
6/9	火	閉所日
6/10	水	
6/11	木	
6/12	金	
6/13	土	
6/14	日	
6/15	月	閉所日
6/16	火	閉所日
6/17	水	
6/18	木	
6/19	金	
6/20	土	
6/21	日	
6/22	月	閉所日
6/23	火	閉所日
6/24	水	
6/25	木	
6/26	金	
6/27	土	
6/28	日	
6/29	月	閉所日
6/30	火	閉所日
○6/下～7/中 Web単位認定試験体験会(SC受験者向け)		
○6/下 単位認定試験通知発送		

〔1学期〕7月

月 日	曜	事 項
7/1	水	
7/2	木	
7/3	金	
7/4	土	
7/5	日	
7/6	月	閉所日
7/7	火	閉所日
7/8	水	
7/9	木	
7/10	金	
7/11	土	
7/12	日	
7/13	月	閉所日
7/14	火	閉所日 単位認定試験
7/15	水	単位認定試験
7/16	木	単位認定試験
7/17	金	単位認定試験
7/18	土	単位認定試験
7/19	日	単位認定試験
7/20	月	閉所日 海の日 単位認定試験
7/21	火	閉所日 単位認定試験
7/22	水	単位認定試験
7/23	木	
7/24	金	
7/25	土	
7/26	日	閉所日 面接授業終了(4/18～)
7/27	月	閉所日
7/28	火	閉所日
7/29	水	
7/30	木	
7/31	金	

〔1学期〕8月

月 日	曜	事 項
8/1	土	
8/2	日	閉所日
8/3	月	閉所日
8/4	火	
8/5	水	
8/6	木	
8/7	金	
8/8	土	
8/9	日	閉所日
8/10	月	閉所日
8/11	火	閉所日 山の日
8/12	水	夏季閉所日
8/13	木	夏季閉所日
8/14	金	夏季閉所日
8/15	土	夏季閉所日 第2学期科目登録 (郵送～8/30、Web～8/31)
8/16	日	閉所日
8/17	月	閉所日
8/18	火	
8/19	水	
8/20	木	
8/21	金	
8/22	土	
8/23	日	閉所日
8/24	月	閉所日
8/25	火	
8/26	水	
8/27	木	
8/28	金	
8/29	土	
8/30	日	閉所日 第2学期科目登録 (郵送) 締切
8/31	月	閉所日 第2学期科目登録 (Web) 締切
○8/1 研究成果発表会開催予定		
○8/15～8/25 修士・博士全科生出願受付期間		

〔1学期〕9月

月 日	曜	事 項
9/1	火	
9/2	水	
9/3	木	
9/4	金	
9/5	土	
9/6	日	閉所日
9/7	月	閉所日
9/8	火	閉所日
9/9	水	
9/10	木	
9/11	金	
9/12	土	
9/13	日	閉所日
9/14	月	閉所日
9/15	火	
9/16	水	
9/17	木	
9/18	金	
9/19	土	卒業証書・学位記授与式
9/20	日	閉所日
9/21	月	閉所日 敬老の日
9/22	火	閉所日 国民の休日
9/23	水	閉所日 秋分の日
9/24	木	
9/25	金	学園祭(準備)
9/26	土	学園祭
9/27	日	閉所日 学園祭
9/28	月	閉所日
9/29	火	
9/30	水	

〔2学期〕10月

月 日	曜	事 項
10/1	木	学生証発行 放送授業開始(～1/13)
10/2	金	
10/3	土	入構禁止 大学院修士・博士全生第1次選考(筆記)
10/4	日	第2学期入学者の集い
10/5	月	閉所日 オンライン授業(～1/中)
10/6	火	閉所日
10/7	水	
10/8	木	
10/9	金	入構禁止 大学院修士・博士全生第1次選考(筆記)(予備日)
10/10	土	
10/11	日	
10/12	月	閉所日 スポーツの日
10/13	火	閉所日
10/14	水	閉所日
10/15	木	
10/16	金	面接授業追加登録空席発表
10/17	土	面接授業(～1/24)
10/18	日	
10/19	月	閉所日
10/20	火	閉所日
10/21	水	
10/22	木	
10/23	金	
10/24	土	
10/25	日	
10/26	月	閉所日
10/27	火	閉所日
10/28	水	
10/29	木	
10/30	金	ライブWeb授業(～1/中)
10/31	土	
○10/16～1/10 面接授業追加登録受付		

〔2学期〕11月

月 日	曜	事 項
11/1	日	
11/2	月	閉所日
11/3	火	閉所日 文化の日
11/4	水	閉所日
11/5	木	通信指導提出期間 (Web ~ 11/25)
11/6	金	
11/7	土	
11/8	日	
11/9	月	閉所日
11/10	火	閉所日
11/11	水	通信指導提出期間 (郵送 ~ 11/25)
11/12	木	
11/13	金	
11/14	土	
11/15	日	
11/16	月	閉所日
11/17	火	閉所日
11/18	水	
11/19	木	
11/20	金	
11/21	土	
11/22	日	
11/23	月	開所日 勤労感謝の日
11/24	火	閉所日
11/25	水	閉所日 通信指導提出期限 (郵送・Web)
11/26	木	
11/27	金	
11/28	土	
11/29	日	
11/30	月	閉所日

〔2学期〕12月

月 日	曜	事 項
12/1	火	閉所日
12/2	水	
12/3	木	
12/4	金	
12/5	土	
12/6	日	
12/7	月	閉所日
12/8	火	閉所日
12/9	水	
12/10	木	
12/11	金	
12/12	土	
12/13	日	
12/14	月	閉所日
12/15	火	閉所日
12/16	水	
12/17	木	
12/18	金	
12/19	土	
12/20	日	
12/21	月	閉所日
12/22	火	閉所日
12/23	水	
12/24	木	
12/25	金	
12/26	土	
12/27	日	
12/28	月	閉所日
12/29	火	閉所日
12/30	水	閉所日
12/31	木	閉所日
○12/下～1/中 Web 単位認定試験体験会 (SC受験者向け)		
○12/下 単位認定試験通知発送		

〔2学期〕1月

月 日	曜	事 項
1/1	金	閉所日 元旦
1/2	土	閉所日
1/3	日	閉所日
1/4	月	閉所日
1/5	火	閉所日
1/6	水	
1/7	木	
1/8	金	
1/9	土	
1/10	日	
1/11	月	閉所日 成人の日
1/12	火	閉所日
1/13	水	閉所日
1/14	木	
1/15	金	
1/16	土	
1/17	日	単位認定試験
1/18	月	閉所日 単位認定試験
1/19	火	閉所日 単位認定試験
1/20	水	単位認定試験
1/21	木	単位認定試験
1/22	金	単位認定試験
1/23	土	単位認定試験
1/24	日	単位認定試験 面接授業終了(10/17～)
1/25	月	閉所日 単位認定試験
1/26	火	閉所日
1/27	水	
1/28	木	
1/29	金	
1/30	土	
1/31	日	閉所日

〔2学期〕2月

月 日	曜	事 項
2/1	月	閉所日
2/2	火	
2/3	水	
2/4	木	
2/5	金	
2/6	土	
2/7	日	閉所日
2/8	月	閉所日
2/9	火	
2/10	水	
2/11	木	閉所日 建国記念の日
2/12	金	
2/13	土	2027年度第1学期科目登録(郵送～2/27・Web～2/28)
2/14	日	閉所日
2/15	月	閉所日
2/16	火	
2/17	水	
2/18	木	
2/19	金	
2/20	土	
2/21	日	閉所日
2/22	月	閉所日
2/23	火	閉所日 天皇誕生日
2/24	水	
2/25	木	
2/26	金	
2/27	土	2027年度第1学期科目登録(郵送) 締切
2/28	日	閉所日 2027年度第1学期科目登録(Web) 締切

〔2学期〕3月

月 日	曜	事 項
3/1	月	閉所日
3/2	火	
3/3	水	
3/4	木	
3/5	金	
3/6	土	
3/7	日	閉所日
3/8	月	閉所日
3/9	火	
3/10	水	
3/11	木	
3/12	金	
3/13	土	
3/14	日	閉所日
3/15	月	閉所日
3/16	火	
3/17	水	
3/18	木	
3/19	金	
3/20	土	
3/21	日	閉所日 春分の日
3/22	月	閉所日 振替休日
3/23	火	閉所日
3/24	水	放送大学学位記授与式
3/25	木	
3/26	金	
3/27	土	
3/28	日	閉所日
3/29	月	閉所日
3/30	火	
3/31	水	

3 学習センター概要

(1) 主な業務

- 面接授業及び単位認定試験の実施
- 各種の教務に関する窓口事務
- 学生の学修上の各種の相談受付
- 図書及び再視聴設備の提供
- 施設使用の申請受付
- 学生旅客運賃割引証（全科履修生・修士全科生のみ）及び諸証明書の発行
- 学生教育研究災害傷害保険等の取扱い

(2) 利用できる人

- 本学の学生
- その他所長が許可した者

(3) 利用上の注意事項

- **学生証を必ず携行**してください。学生証を紛失した場合は、ただちに再発行手続きを行ってください（手続先：所属学習センター）。
- 図書室を利用する場合は、p.26～p.27をご確認ください。
- 面接授業、視聴学習室、単位認定試験等の学生に対する通知は、2階の教務用掲示板に掲示されます。
- 合理的配慮などを理由として特に許可された学生以外には、**駐車場がありません**。公共交通機関等を利用してください。
- 学習センター内では、静粛にしてください。
- 下駄等の音が出る履物での入構は、ご遠慮ください。
- みなさんが快適に利用できるよう、清潔な身なりを心懸けてください。
- 飲酒しての来所はご遠慮ください。
- **飲食は、学生ホール及び学生ラウンジ以外ではできません**。
- 敷地内は建物内を含めすべて禁煙です。

- 学生用ロッカーの使用は、当日限りです。
- 忘れ物の保管期間は原則 6 か月です。6 か月を過ぎたものは処分します。携帯電話、タブレット、PC などの機器及び貴重品は速やかに警察に届けます。心当たりのある学生は、事務室に申し出てください。ただし、衛生上保管し難い物（飲食物、汚れ物等）は、適時処分します。
- 学習センター内での火気の使用及び危険物等の持込みは禁止です。
- 盗難等には充分注意してください。
- 当校舎の電源を携帯電話充電や PC 充電等のために利用することは、原則禁止です。
- 外部からの電話は、緊急やむを得ない場合以外は取り次ぐことはできません。
- 単位認定試験の受験及び面接授業等を受講する際に、子供を伴っての来所はご遠慮ください。近隣の託児所については、本学習センター Web サイトの『文京区キッズルーム（一時保育事業）』で案内しています。

(4) 開所日及び利用時間

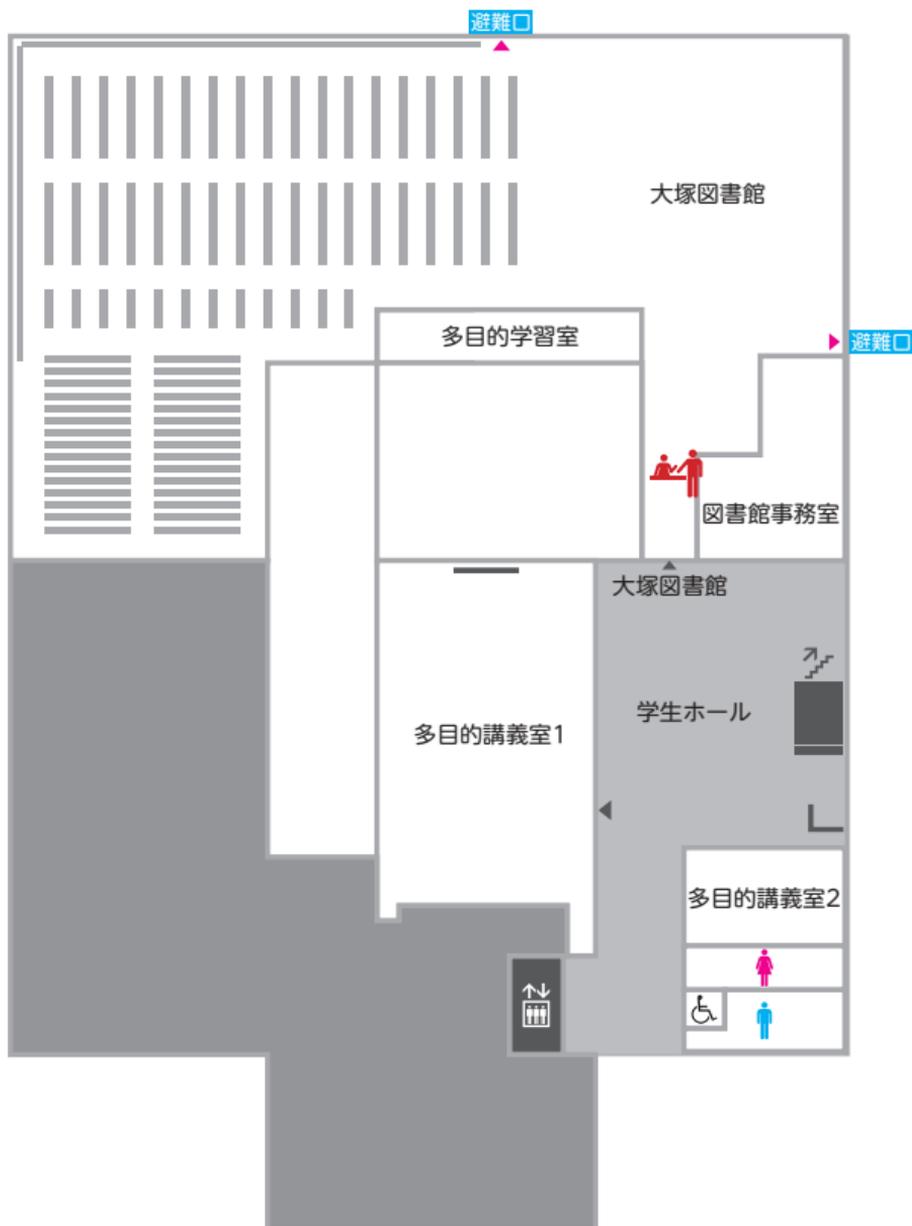
東京文京学習センターの開所時間は次のとおりです。(2026 年 4 月 1 日～)

4月～7月、10月～1月：水曜～日曜（月曜・火曜閉所） 10：00～12：00 / 13：00～17：45
8月、9月、2月、3月：火曜～土曜（日曜・月曜閉所） 10：00～12：00 / 13：00～17：45

図書室は時間帯が異なりますので図書室の利用 p.26～p.27 をご確認ください。

4 施設の案内

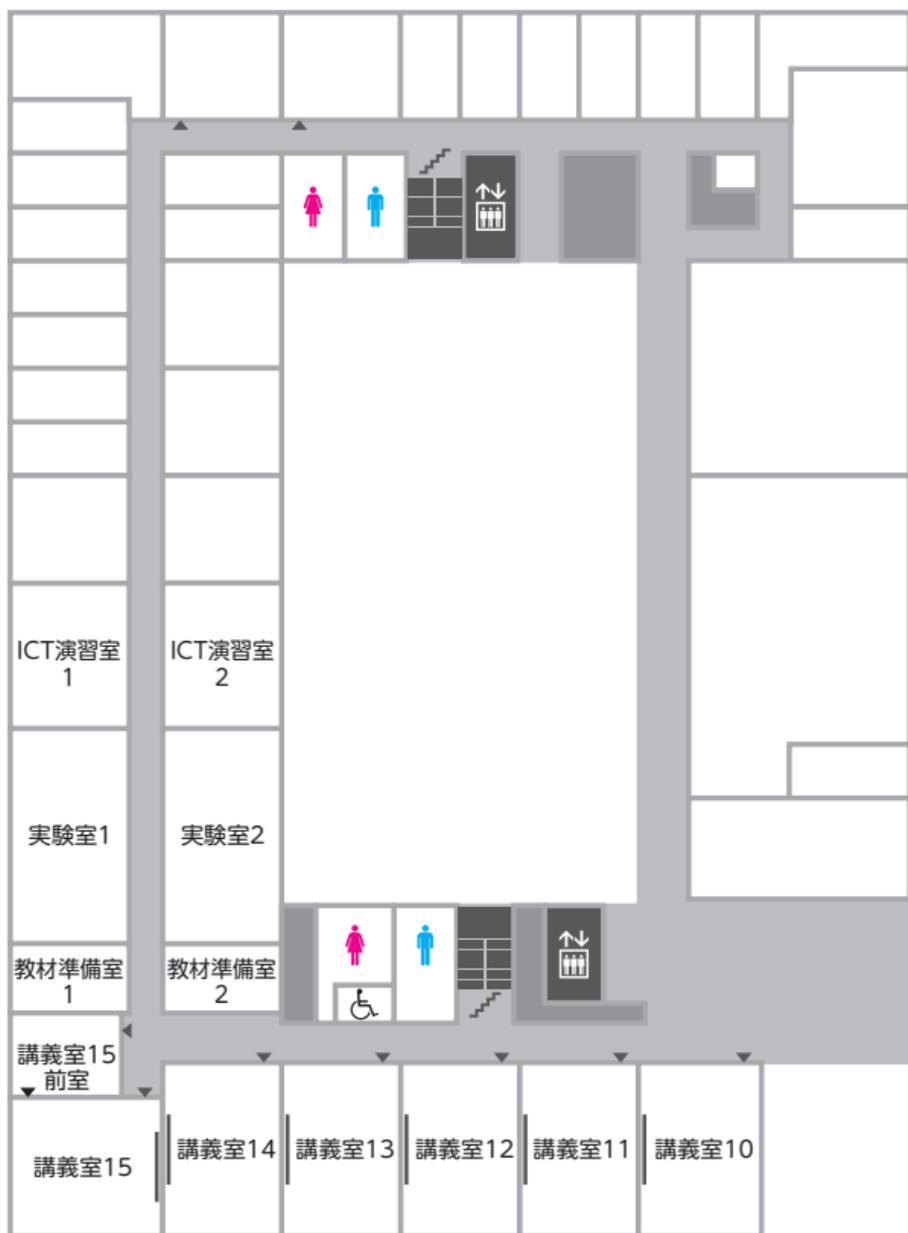
(1) 地下1階



(2) 2階



(3) 3階



(4) 事務室等案内

① 掲示板

面接授業（休講の連絡等）や単位認定試験に関すること等、学生に対する通知・連絡は2階の教務用掲示板に掲示します。学習センターに来ましたら必ずご確認ください。

② 学生ホール・学生ラウンジ

学生ホール及び学生ラウンジは、学習の合間に気楽に利用できるよう設けられたみなさんのふれあいの場所です。休憩、談話、携帯・パソコンの使用場所等として利用してください。ただし、他の人の迷惑となる行為は慎んでください。

③ 事務室

履修に関すること、学生証の発行、学生旅客運賃割引証の発行、各種の手續、諸証明書の発行及び学生教育研究災害傷害保険等の取扱い等についての窓口です。

④ 講義室・多目的講義室

面接授業及び単位認定試験等に使用します。

⑤ 保健室

学習センター内で軽度のけがをした時や、急に気分が悪くなった時などに利用できます。

なお、利用する場合は必ず事務室に申し出てください。

⑥ 図書室

図書室の利用については、p.26～p.27を参照してください。

⑦ 学生相談室・演習室

ゼミ・学生の学習上の相談等に使用します。

⑧ 視聴学習室

視聴学習室の利用については、p.28～p.29を参照してください。

⑨ ICT 演習室

パソコンを使用する面接授業等に使用します。

5 図書室の利用

地下1階の図書室は、筑波大学大塚図書館との共用施設で、筑波大学職員が対応しており、資料の閲覧のみが可能です。放送大学本部図書の貸出、返却は、放送大学本部図書館または2階事務室が窓口となりますのでご注意ください。

(1) 図書室の利用時間

月曜日	10:30～18:30
火曜日～金曜日	10:00～21:10
土曜日	10:00～19:50
日曜日	10:00～18:00

※祝日、夏季一斉休業、年末年始は休館です。その他、臨時に休館する場合があります。

(2) 入館

学生証を係員に提示することで入館できます。

※入館方法を、臨時に変更する場合があります。

(3) 図書資料の閲覧

放送大学の蔵書(青い書架)と筑波大学の蔵書に分けられています。本学在学学生は放送大学の蔵書・筑波大学の蔵書どちらも閲覧することができます。

(4) 図書室内に必要な図書がない場合

2階事務室にご相談ください。放送大学本部図書館・他大学図書館の図書の貸出申込みをすることができます。また、雑誌論文等の文献複写も申し込むことができます。申込みは放送大学附属図書館Webサイトまたは2階事務室で行うことができます。

(5) その他

図書室内の図書や利用について質問がある場合は、図書室カウンターにお尋ねください。

(6) 図書室内のコピー

図書室内の資料の複写は、著作権法の規定の範囲内で、図書室内のコピー機を使用してセルフサービスで行うことができます(有料)。文献複写申込書に記入の上、複写してください。図書室内のコピー機は、資料(図書室内の図書・雑誌)の複写以外の目的では使用できません。

詳細は図書室に相談してください。

(7) 他大学図書館利用の紹介状の発行

学習に必要な資料が図書室にない場合、他大学附属図書館等を利用することができます。申込みは放送大学附属図書館 Web サイトまたは 2 階事務室で、「他大学図書館利用申込書」に所定の事項を記入し、お申し込みください。

(8) 注意事項

- ・ 飲食はできません(学生ホール及び学生ラウンジを利用してください)。
- ・ 携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- ・ 貴重品は常に携帯してください。
- ・ 閲覧が終わった資料は、必ず元の場所に返してください。
- ・ 荷物を置いての離席や複数席占有しないでください。
- ・ 閉館時間になったらすみやかに退出してください。
- ・ 学習センターに関する質問(面接授業など)は 2 階事務室で行ってください。

※開館日・開館時間・入館・サービス内容等が臨時に変更になる場合があります。最新の情報は、筑波大学附属図書館の Web サイトでご確認ください。

6 視聴学習室の利用

視聴学習室では放送教材の視聴等ができますので、ヘッドホンなどを持参してください。

また、室内では係員の指示に従い、他の人の迷惑になるような行為は慎んでください。なお、機器の調整等で利用できる席が少なくなる期間があります。

(1) 開室時間

4月～7月、10月～1月 水曜～日曜 10:00～17:00 (月曜・火曜 閉室)
8月、9月、2月、3月 火曜～土曜 10:00～17:00 (日曜・月曜 閉室)

※学習センターの開所日でも、閉室になることがあるので、学習センター Web サイトで最新情報をご確認ください。

(2) 入室

- ①事務室の窓口で利用の申し出をして、学生証を預けて入室用の IC カードを受け取ってください。
- ② IC カードは一時退室する場合、必ず携行してください。
- ③退室する時は、事務室の窓口で IC カードを返却し、ご自身の学生証を受け取ってください。

12:00～13:00の間は窓口を閉鎖しているため、新規入室と IC カードの返却はできません。

昼食等で一時的に外に出る時には IC カードの返却は不要です。

また、室内では次の事項を厳守してください。

- ・ 飲食はできません (学生ホール及び学生ラウンジを利用してください)。
- ・ 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- ・ 本学在学学生以外は入室できません。

(3) 放送教材の視聴

- タブレットによる視聴
 - ・視聴学習室内に設置してあるタブレットを使用し視聴してください。
- 放送教材 (DVD・CD) の室内貸出・視聴方法
 - ・視聴したい放送教材を棚から探し、視聴学習室内で視聴してください。(1回の視聴につき2本まで持ち出せます。)
 - ・視聴を終了した放送教材は、ご自身で元の場所に戻してください。

室内貸出用の放送教材は、視聴学習室外に持ち出せません。また、著作権法により複製はできません。

(4) 機器の操作

各座席に操作手順書がありますので、必ずこの手順に従い操作してください。誤った操作は故障の原因になります。機器はていねいに取り扱ってください。不明な点は係員に尋ねてください。

(5) 専用席

視聴コーナーの座席利用が困難な学生のための車椅子専用席・拡大読書用専用席がありますので、ご利用ください。

(6) 図書貸出・文献複写受取

図書の貸出申込みは、システム WAKABA 学内リンク「放送大学附属図書館」からできます。

放送大学本部図書、他大学図書の貸出や返却、複写物の申込・受取は事務室でできます。

(7) 事務室での文献複写

事務室では、シラバス・印刷教材等の文献複写の申込みをすることができます。複写申込みは17時までです。

※学習センターで放送教材(DVD・CD)の室外・郵送貸出しをすることはできません。

7 諸手続・諸証明

(1) 住所等の変更

住所、電話番号等に変更があったときは、システム WAKABA から申請するか、変更届を学部学生は所属学習センターに、大学院生の修士全科生及び博士全科生は大学本部教務課に、修士選科生・修士科目生は大学本部学生課に提出してください。また、最寄りの郵便局へも転居届を出してください。

氏名変更のときは、システム WAKABA から申請するか、変更届を学部学生は大学本部学生課に、大学院生の修士全科生及び博士全科生は大学本部教務課に、修士選科生・修士科目生は大学本部学生課に提出してください（学生証再発行の手続も併せて行う必要があります）。

なお、変更手続が遅れると、本学からの様々な送付物を正確に届けられなくなります。その他にも種々の届出が必要となる場合があります。詳しくは「学生生活の栞」を参照してください。

(2) 学生教育研究災害傷害保険の加入

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために、学生教育研究災害傷害保険の制度があります。任意加入の保険ですが、面接授業科目によっては加入が条件となります。加入手続は事務室窓口で受け付けます（基本保険料 100 円。保険期間 6 年）。

加入の翌日午前 0 時から保険適用が開始となります。学籍が間を置かず、引き続き在学中である限りは保険終期まで保険期間が継続します。

また、加入日にかかわらず、4 月入学者は保険終期が 3 月 31 日に、10 月入学者は保険終期が 9 月 30 日になります。詳しくは「学生生活の栞」を参照してください。

(3) 学生旅客運賃割引証の発行

学割証（通学用割引普通回数乗車券及び割引普通乗車券等）は、**全科履修生、修士全科生及び博士全科**

生が自宅から学習センターまたは大学本部に面接授業の受講、単位認定試験の受験、視聴学習室の利用等で通学する場合や、卒業研究・研究指導の調査・研究のため、指導教員の指示により移動する場合等に発行します（社会体育の受講及び単位互換のため他大学へ通学する場合は除きます。また、指導教員の指示による場合は、使用目的を確認するため、指導教員等からの通知文書等を提示してください）。

学割証の発行を希望する学生は、事務室に備えてある申請用紙に必要事項を記入の上、**学生証を添えて所属する学習センターへ申し込んでください**（郵送申請可、詳しくは「学生生活の葉」を参照してください）。

(4) 諸証明書の発行

在学証明書、成績・単位修得証明書及び在学期間証明書等の証明書発行については、事務室で手続きを行ってください。証明書の発行手数料は1通につき200円です。

なお、教員免許状申請用証明書、資格試験受験のための証明書、大学院受験のための調査書等、特殊な証明書の発行については、2週間程かかりますので、発行に要する日数を確認の上で請求してください。詳しくは「学生生活の葉」を参照してください。

(5) 無線LANの利用申請

学習センター内での学習を目的とした無線LANサービス「WiFi-houdai」を提供しています。発行されたID及びパスワードで、他の学習センター（一部を除く）でも「WiFi-houdai」の利用が可能です。

【申請方法】

学生は、次の手順でオンライン申請を行ってください。

- ①放送大学自己学習サイトの「**情報セキュリティ研修（学生用）**」を受講し、小テストに合格

- ②「情報セキュリティ研修」合格後に、次のとおりシステム WAKABA からオンライン申請
〔システム WAKABA > 各種届出・申請様式 > 無線 LAN 利用申請 (オンライン)〕
- ※「情報セキュリティ研修」に合格していれば、オンラインで簡単に申請できます。

【注意事項】

- ・無線 LAN の利用に当たっては「放送大学情報セキュリティガイドライン利用者用 (学生用)」及び「学生持込パソコン等で無線 LAN を利用するための条件」を遵守してください。違反した場合は、無線 LAN の利用を停止し、場合により処罰の対象となります。
- ・利用期限は在学期間 (申請時点見込み) の末日までです。
- ・再入学した場合には再度申請してください。
- ・発行されたパスワードは変更できません。

8 学習上の注意事項

(1) 面接授業

面接授業科目は、原則として1時限1時間30分の授業を計7回、45分の授業を1回、計8回行います。

①授業科目の開講期間

面接授業科目は全国の学習センター等で開講します。また、開講期間等は次のとおりです。

開講学期	開講期間
2026年度第1学期	2026年4月18日(土) ～7月26日(日)
2026年度第2学期	2026年10月17日(土) ～2027年1月24日(日)

②授業科目の実施時間帯

1時限：9：50～11：20
2時限：11：35～13：05
3時限：14：05～15：35
1時限：15：50～17：20

③科目登録及び受講に当たっては**シラバス**で開講日・時間帯を必ず確認してください。

④受講日当日は、1・2階の掲示板で教室確認してください。

⑤科目登録決定がされたものについて、取消、クラス及び学習センター等の変更は認められませんので、注意してください。

また、科目登録申請を行っても、定員の都合上受講できない場合がありますので、後日送付される「**科目登録決定通知書**」で確認してください。

⑥面接授業の追加登録については**学習センター Web サイト**をご覧ください。

⑦やむを得ず授業日程に変更が生じた場合は、本学の面接授業 Web サイトや**2階掲示板**に掲示しますので、注意してください。また、時間的余裕があれば、受講生には極力電話・郵便等でも連絡します。

(2) 通信指導

通信指導は各放送授業科目について、学期の途中で1回行われます。

通信指導の解答が提出されなかった場合や不合格の場合は、その科目の単位認定試験が受験できません。注意してください。

(3) 卒業研究

卒業研究は全科履修生の選択科目です。卒業研究の履修を計画している学生は、履修する前年度に所要の手続を踏まなければ履修できません。

詳しくは、毎年6月上旬から各学習センターで配布予定の「卒業研究履修の手引」をご覧ください。

(4) 体育実技

体育実技は全科履修生の選択科目です。体育実技の科目登録を行った上で、全科履修生が、社会体育事業として行われる各種の体育・スポーツ教室に参加することによって単位が認められます。

詳しくは「体育実技履修の手引」を参照してください。

身体に障がいがある学生で、社会体育事業に参加することが困難な場合は、事務室に相談してください。

(5) 単位認定試験

Web受験方式で実施します（一部科目のみ郵送受験方式で実施します。）。体験版で、ログインから解答提出までの操作の流れを体験できます。試験期間前までに、必ず体験版を操作しておいてください。自宅等でのWeb受験が困難な方は、所定の期間内に申請を行うことで、学習センター等で受験することができます。

(6) 除籍

次のいずれかの事由に該当するときは、除籍されます。

- ①全科履修生が在学年限を超えたとき（詳細については、「学生生活の栞」の修業年限及び在学年限を参照してください）。
- ②全科履修生が科目登録申請及び授業料納入を4学期間続けて行わないとき。

(7) 学習相談

学習センターでは学習上の初歩的なことから、学習の方法、学習のすすめ方、授業内容に関することについて、随時、本センター所属客員教員と所長が直接面談等による相談に応じています。

相談を希望する学生は、メールまたは東京文京学習センターのWebサイト上の所定の申込みフォームから申し込んでください。

(8) 立入禁止場所

筑波大学のエリアは立入禁止となっています。

また、学習センター内には、立入りを禁止しているエリアがあります。

(9) ハラスメント

- ①大学におけるハラスメント（相手を不快にさせる言動など）は、学生の学習意欲を低下させ、修学の妨げとなります。
- ②何気ない言動や褒めたつもりのひと言が、場合によってはハラスメントとして受け取られることもあります。相手の人格を尊重し、お互いにより良いコミュニケーションがとれるように心掛け、ハラスメントのない、快適な大学をつくりましょう。
- ③ハラスメントを受けた場合には、一人で我慢しないで、まず信用できる人に相談しましょう。放送大学では、ハラスメントの相談窓口（相談員）

を設けておりますので、所属している学習センター所長または事務長にご連絡ください。

あなたのプライバシーは厳守いたしますので、ご安心ください。

なお、困っている人を見かけた場合にも、同様にご相談ください。

(10) 障がいのある学生への修学支援

放送大学では、障がいのある学生に、障がいの特性等に応じた修学支援を行っています。(本学では、修学上の合理的配慮と言います。)

この修学上の「合理的配慮」は、それぞれの障がいの特性や大学側の状況などを勘案し、希望される学生ご自身と本学とが相談・協議の上で決定されるものです。

面接授業やライブ Web 授業の履修を希望される学生は、科目登録申請前に、当該授業を開講する学習センター等に事前相談をしてください。

(11) 施設の使用

学生が集会等のために、講義室等の施設を使用する場合(個人での使用は不可)は、所定の手続が必要です(使用できる教室は事務室にご確認ください)。

なお、施設の使用に当たっての注意事項は、次のとおりです。

①施設の使用に当たっては、次の事項を遵守してください。

- ・事前に学生団体の登録が必要です。
- ・施設使用願の受付は原則として使用する日の2か月前から3日前までとなります。なお、申請は当学習センター所属の学生に限ります。
- ・目的以外の用途には使用できません。
- ・使用時間を遵守してください。
- ・建物内は火気厳禁です。
- ・室内の飲食は厳禁です。

- ・ 使用後は原状に戻してください。
- ②施設の使用者が放送大学の規則に違反したときには、使用許可を取り消すことがあります。
- ③学生が故意または過失により施設の設備、備品を損なったときは、損害賠償責任が生じます。

(12) 学生用掲示板

2階に学生用掲示板が備えてあります。

文書・ポスター等の掲示を希望するときは、あらかじめ事務室に「文書等掲示願」を届け出て許可を受けてください。掲示期間は3週間以内です。

なお、申請は当学習センター所属の学生に限ります。

掲示物の大きさは、原則としてA4判以内です。

なお、届け出のときは掲示物等を添えてください。

学生ホールには、学生団体が連絡をとるための「学生連絡用掲示板」も備えてあります。

(13) 学生団体（サークル）

学生が互いに研究会・勉強会及びスポーツ活動等を行うために、所定の手続をとることにより学生団体（サークル）を結成することができます。詳しくは「学生生活の栞」を参照の上で事務室までお問い合わせください。

なお、東京文京学習センターの公認学生団体については「東京文京学習センター公認学生団体（サークル）一覧」（p.39～p.40）を参照してください。

2026年度東京文京学習センター公認学生団体(サークル)一覧

2026年1月現在

サークル名	目 的
めいほうかい 茗峰会	自然を愛し、自然と触れ合うことにより、人間性の回復を目指す。
テオリア	哲学の学習と研究により、会員各自の哲学的態度の養成、自己開発、また、会員相互の親睦を図る。
あすなる会	放送大学生相互の親睦並びに共同学習による学力向上を通して、自己を啓発し、生涯学習の輪を広げて行く。
ドイツ語 学習会	ドイツ語の学力向上とドイツ文化への理解を深めることを目指すとともに、学生相互の親睦を深める。
科学 サークル	科学のリテラシーと普及を目的に、共同学習等によって、会員同士の親睦を深める。
写真クラブ	会員の写真技術の向上を主な目的とする。また、その目的達成のため写真に関するハード及びソフトにおける総合的な研究活動を行うとともに、活動を通して学生間の交流を図り在学生生活をより豊かで実りのあるものにするよう活動する。
哲学の会 めてうす	思索としての哲学の意義を会員共同の哲学研究活動を通じてより深く理解し、人間と世界に対して視野を広め、会員相互の啓発と親睦を深める。
陸上競技部	陸上競技に実践的・理論的に取り組み、会員相互の交流を促し、もって学生生活を豊かにする。
ボールルーム ダンス研究会	社交ダンスの技術、知識の習得を目的とし、会員相互の親睦をはかり、社交ダンスに対する造詣を深める。
文京合唱団	合唱の活動を通して放送大学の学生である会員間の親睦または関係者との親睦を深める。
西洋音楽史 研究会	西洋音楽史の学習、研究を通して知識及び理解の向上を図るとともに会員相互の親睦を深める。
ツーリング クラブ	オートバイツーリングで学生の親睦を深め、安全なライディングを相互に啓発する。
富永ゼミ 「環境」	「環境」に係るさまざまな問題を勉強し意識を高める。

サークル名	目 的
陸墨会	墨彩画、水墨画、東洋史や自然の美しさを学ぶことを通して、会員相互の親睦と墨彩画技術の向上を目的とし、墨彩画講習会、スケッチ会等を開催する。
K.N. アカデミア	放送大学客員教授永原恵三先生ゼミでの学びを更に深めるために、学生及び卒業生が相互に音楽を学び合い、研鑽、親睦を図る。
社会課題解決 テーブルゲーム を研究する会	放送大学に在籍する学生相互の交流、親睦、学習への士気向上を図るべく、テーブルゲームを活用したサークルを結成する。
英映会	英語の学力向上と英語圏の文化への理解を深めることを目指すとともに、学生相互の親睦を深めることを目的とする。
星ゼミ英語 本読書会	心理学に関する英語の原書を読むことで、教養を深め、日々の生活に活かす。
鉄道研究会	鉄道を学術的・趣味的に研究し、鉄道に対する理解を深めるとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする。
comodo	主として若年学生の相互学習支援により、広い分野での知識や見識を拡充する。また、活動を通じて学生間の親睦を図る。
生き物クラブ	生物全般についての調査研究を行うことにより、生物への理解を深め、環境保護意識の向上を図る。学生相互の研鑽、親睦、交流を図る。
地理地学 研究会	地理学及び地学並びに関連する諸分野に関する勉強会及び現地視察活動（巡検）等を行うことにより、これらについての関心・理解を深めると共に、学生相互並びにその他の本会関係者間の研鑽、親睦、交流を図ることを目的とする。
ラテン語 PLUS	ヨーロッパ系言語の主要な語源であり、学術的公用語であったラテン語と、それに関係深いギリシャ語、ドイツ語を学び、それらによる多様な文化資産を原語で読む。
Masicula Choir (マシチュラ クワイア)	南アフリカおよび周辺地域のうたや音楽を通してアフリカ世界の社会、文化等の理解を図ると共に学生相互の研鑽、交友を図る。
放送大学 のんびり発達 研究会	発達障害や学習上の困難を抱える学生が、互いに交流し、学びの工夫や生活上の工夫を共有することにより、放送大学における学習意欲の向上と学生相互の理解・支え合いを促進することを目的とする。

9 東京文京学習センターの教員紹介



おおにし かつや
大西 克也 所長／教授

専門：中国語学・漢字学
前職：東京大学教授

私の専門は中国語学・漢字学です。春秋戦国・秦漢時代、およそ前6世紀頃から紀元前後の中国語の文法と、その時代の出土資料に見える漢字を主に研究しています。『論語』や『史記』が書かれたこの時代の言葉が基礎となって、私たちが学ぶ漢文が形成されました。子供の頃から古い中国が好きだった私は、当時の人々が言葉を使ってどのように世界を切り分けていたのか、切り分けられた世界はどのように言葉に組み込まれていたのかを知りたくなり、今日まで研究を続けてきました。2000年以上前の出土資料には、秦の始皇帝の天下統一を挟んで激しく変貌する生の漢字の姿が映し出されています。近年は日本における漢字の、中国とは異なる文化的・宗教的性質にも関心を持っています。2026年4月に所長として着任、皆さんの学習環境を支えていきたいと思っております。



あんどう ひろし
安藤 宏 客員教授

専門：日本近代文学
前職：東京大学教授

私の専門は日本の近代文学です。明治～昭和期にいたる、小説の文体、表現史に関心があり、一般書としては『日本近代小説史』（中公選書）、『私』をつくる―近代小説の試み』（岩波新書）などがあります。前者は以前の放送大学の授業科目の一部を書き直したものです。特に力を入れてきたのは太宰治の研究で、2021年に専門書として、『太宰治論』（東京大学出版会）を出しました。あと、目黒区駒場の日本近代文学館の役員を務めていますので、館の企画で、みなさんとお会いする機会もあるかと思います。2024年春に東京大学を定年退職し、執筆活動を続けてます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



いけだ よしろう
池田 嘉郎 客員教授

専門：近現代ロシア史
現職：東京大学教授

私の専門は近現代ロシア史研究です。ロシアでは1905年、1917年、1991年と3度大きな体制変革の機会がありましたが、基本的な統治の構造はこれらの転換点を超えて継承されました。それは第一に統治者が法の上に立つという政治文化であり、第二に住民を団体に編成して統治を行なうという支配の仕組みです。この二つの契機がいかんして再生産されているのかを明らかにすることが、私の主題です。言い換えれば、権力をめぐるロシアの政治文化を明らかにしたいのです。これまで第一次世界大戦からロシア革命を経てスターリン時代にいたる政治史を研究してきました。その一方で、研究を進めるにつれて、権力の問題を明らかにするためには人の心の奥へと降りていく必要があるとの考えをもつにいたりしました。そのため現在は文学研究にも大きな関心をもっています。



おたべ たねひさ
小田部 胤久 客員教授

専門：美学
前職：東京大学教授

私は主に 18 世紀中頃から 19 世紀初めにかけてのドイツ語圏の美学理論（その代表的論者はカントです）を研究しています。学問としての美学も、今日私たちが用いる意味における芸術という術語も、この時代に成立しました。両者の成立過程を、古典古代から現代にいたる西洋の思想史の文脈のうちに解明する作業に携わっています。と同時に、美学や芸術が近代日本に移入され定着する過程にも関心を寄せています。美学という語の用例として、『広辞苑』では「引き際の美学」が、『日本国語大辞典』では「生活の美学」（石川淳）が挙げられていますが、美学を生活に即して捉える考え方は日本に特有のものであります。美学のさまざまな可能性について、皆さんと議論できれば幸いです。と同時に、「引き際」を忘れないよう自戒せねばなりません。



おのつか ともじ
小野塚 知二 客員教授

専門：歴史学、経済学
現職：東京大学特任教授

わたくしの専門は経済学と歴史学の境界の経済史という研究領域です。20 代から研究を続けているのは、イギリス近代（≒ 19 世紀）と現代（≒ 20 世紀）の労務管理・労使関係の歴史です。近現代産業社会で、最も多くの人に関わる人間関係が労務管理と労使関係ですが、その中でも集団的な労使関係・労務管理が生成し変容してきたさまを調べています。このほかに、第一次世界大戦の原因とその民衆的な要因、イギリス食文化・食糧史（近代イギリスは料理がまずくなかったが、なぜ飢えなかったか）、野良猫のいる社会といない社会（現在の世界には野良猫のいる日本やイタリアのような国と、野良猫がほぼ消滅してしまったイギリスやドイツのような国がありますが、野良猫はなぜ、どのようにして消滅したのか、そのことは何を物語っているのかという問題）、国際武器移転史、原料革命と温暖化問題・人口減少の関連などについても研究を進めています。



すずき いずみ
鈴木 泉 客員教授

専門：哲学
現職：東京大学教授

専門は哲学です。スピノザを中心とした 17 世紀の西洋哲学とドゥルーズを中心とした現代フランス哲学を主たる素材としてものを考えて来ました。自前でものを考えることも大事ですが、少なくとも私の場合、自分の身の丈を越えて思考を羽ばたかせるという冒険に乗り出すためには、彗星のような哲学者や奇矯なことを考え抜いた風変わりな哲学者の助けが必要でした。ただし、特殊な術語によって構築される哲学的な思考の世界の意義を、一方で哲学史の文脈を出来るだけ踏まえると共に、他方で私たちの日常の経験や言葉に引き寄せ、一つ一つ確かめることを自分の仕事の柱の一つにして来ました。そういった来歴を活かし、日常の世界と過去の哲学史の森に片足ずつを据えつつ、学生の皆さんと哲学するという冒険の楽しさを共に出来たらいいと願っています。



ほそや ひろし
細谷 浩史 客員教授

専門：原生生物学、細胞生物学

現職：神奈川大学客員教授

私達ヒトの体は数十兆個の「細胞」でできています。受精時は「1個」の細胞(卵)なのに、2個、4個と正確に分裂が進行していくメカニズムの全貌は今もって不明です。私は、ヒト子宮がん細胞(HeLa細胞)やミドリゾウリムシ(単細胞の原生生物)を実験材料に、細胞の分裂機構解明を目指して研究を行っています。ミドリゾウリムシの体内には、クロレラに類似の共生藻が数百個共生しています。なぜ光合成を行える藻類が、行えない単細胞生物の中に、しかも数限定で共生しているのだろうか。なぜ数十、数千個ではなく数百個なのだろうか。藻類の分裂を制御しているメカニズムは何か?興味の種はつきません。皆様に、躍進する生命科学研究の一端をご紹介できたら幸いです。



まるやま じゅんいち
丸山 純一 客員教授

専門：心理学

現職：文星芸術大学教授

私の専門の心理学には実に多くの分野があり、著名な研究者も多数います。私が若い頃に興味を持ったものを挙げるだけでもその多様性が分かると思います。高校では精神医学者島崎敏樹、大学の教養課程ではモラトリアム人間論の小此木啓吾の精神分析、河合隼雄のユング派心理学、荻野恒一の現存在分析関係の本が印象に残っています。理学部で動物行動学を学んでいた時にアロンソンのThe social animalを偶然手にして社会心理学を志し、大学卒業後に心理学科に学士入学しましたが、ピアジェの認知発達、認知心理学、パーソナリティなどについても興味を持ちました。また、大学の先輩とストレスチェックを作り、美術大学に就職してからは視知覚についても学びを深めました。心理学には皆さんも興味を引かれる分野がきっとあるはずですよ。一緒に学びましょう。



もり よしひと
森 義仁 客員教授

専門：化学

前職：お茶の水女子大学教授

物理と化学を合わせて理化学と呼ぶことがあります。理化学の源流を実験と捉えるなら、自らの手で実験に取り組み、ああでもないこうでもない、理化学を楽しんでみたいです。約100年前に我が国で出版された、少年少女に向けた在宅実験を勧める書「容易にできる理化学実験」には、「百見は一試に如かず」の精神が書かれてあります。百回見るぐらいなら一回は自分の手を動かしてみようというわけです。それも自宅での実験ですから道具を探さないといけないし、条件の検討が必要となります。その経緯には工夫や考案が生まれます。その驚きこそがさらに気持ちを掻き立てるというわけです。「驚きは知識欲」とはこのことかなと思います。それではみなさんご一緒にいかがでしょうか。



よりずみ みつこ
頼住 光子 客員教授

専門：日本倫理思想史、仏教思想

現職：駒澤大学教授

私の専門は、日本倫理思想史、仏教思想です。私は、これまで、道元や法然、親鸞を中心として、日本仏教にかかわる諸テキストをできる限り丁寧に読み解き、そこから日本仏教の人間観や世界観を浮き彫りにしようとして取り組んで参りました。それらの中には、現代の私たちのものの見方を根底から支えているものもあり、また、現代の私たちのものの見方とは大きく異なるが故に、私たちを揺さぶり、問を投げかけることを通じて、新たな思想の形成と価値の創造へ導いてくれるものもあります。

私自身、仏教教義に関わるテキストだけではなく、仏教説話や謡曲など仏教文化、さらには、神話や近代日本思想も含め、日本思想に関わる多様なテキストを対象として研究を進めておりますので、幅広く学習上の相談に応じて参りたいと思っております。



こまた しろう
小又 志郎 客員准教授

専門：物理学

現職：放送大学非常勤講師

物理学、特に素粒子論、場の理論、数理論物理学の分野で研究を進めています。この世界の究極の構成要素は何か、それを支配する法則は何か、ということは古代から探究されてきた問題であり、素粒子に限らず多様なスケールの物理で問われるものです。また、そのような問題に取り組むために使われる数学的手法も、それ自体として多くの面白い問題を提供し、数理論物理学として活発に研究が行われています。

難解そうに見える物理や数学ですが、基礎から一步一步着実に進んでいくことで理解を深めることができ、少しでも理解が進んだときの喜びは格別です。面接授業、自主ゼミ、学習相談などの機会に、ご一緒に勉強していきましょう。



こやま れいこ
小山 玲子 客員准教授

専門：子ども学

前職：秋草学園短期大学准教授

私の専門は子ども学で、主に「乳児保育」「保育者の役割」「望ましい室内環境」について研究しています。年々出生数が減少し、政府予想より10年以上早いペースで少子化が進み社会問題になっています。乳幼児を取り巻く問題・課題は、少子化、育児不安・孤立、虐待・ネグレクト、貧困問題、発達の問題、個人差への理解不足、待機児童問題、保育環境、子どもの人権、子育て支援、スマホ育児、多文化との共生、保育の質等、沢山あります。子どもたちの育ちを社会全体で支援する必要があります。対面授業や自主ゼミ等でこれらの課題を皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

10 案内図

東京文京学習センター

電話 03-5395-8688

住所 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

アクセス ・地下鉄

東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅下車
(出口1 / 春日通り方面) 徒歩3分

・都営バス

JR大塚駅南口 (都02系統) 乗車約9分

JR池袋駅東口 (都02乙系統) 乗車約15分

①「窪町小学校」または②「茗荷谷駅前」下車徒歩3分



※学生用駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。
※学習センターに食堂はありませんので、駅周辺の食堂を利用するか、または各自でご用意ください。



11 放送大学本部及び南関東学習センター一覧

名 称	所 在 地	電話番号
放送大学 本部	〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11 〔放送大学ウェブサイト〕 https://www.ouj.ac.jp 	043 (276) 5111 (総合受付)
(11 A) 埼 玉	〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2 (大宮情報文化センター内)	048 (650) 2611
(12 A) 千 葉	〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11 (放送大学本部敷地内)	043 (298) 4367
(13 E) 東京渋谷	〒151-0052 渋谷区代々木神園町3-1 (国立オリンピック記念青少年 総合センターセンター棟5階)	03 (5428) 3011
(13 B) 東京文京	〒112-0012 文京区大塚3-29-1	03 (5395) 8688
(13 C) 東京足立	〒120-0034 足立区千住5-13-5 (学びピア21内)	03 (5244) 2760
(13 D) 東京多摩	〒187-0045 小平市学園西町1-29-1 (一橋大学小平国際 キャンパス内)	042 (349) 3467
(14 A) 神奈川	〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1	045 (710) 1910

放送大学東京文京学習センター利用の手引

発行 2026年4月1日

所在地 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

電話 03-5395-8688

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/bunkyo/>

